



高碓記念奨学金新設!

2025年度から、授業料全額を奨学金として給付する「高碓記念奨学金」がスタートします。

創設の思い

本学の前身である東洋罐詰専修学校は、「缶詰業を通じて社会に奉仕し、国益を伸長する」という創設者・高碓達之助の理想と情熱が詰まった学校として産声をあげ、短期大学昇格前年の1960(昭和35)年まで、学費無償で、全国から集まる若者を教育してきました。

短期大学昇格以後も、低廉な学費で教育するという特長は受け継がれてきましたが、令和を迎えた今、改めて原点(創設者・高碓達之助の理想と情熱)に立ち返り、食の未来を支えて社会に貢献したいという若者に、学費の心配なく一生懸命学んでほしい、という思いから、新たに「高碓記念奨学金」の創設を決めました。

Point 1 対象学生は全学生!

高碓記念奨学金の最大の特長は、全員対象であることです。また、奨学金の給付条件はたった一つで、それは、進級・卒業が確定していることです。入学時に、1年次分の授業料をご負担いただきますが、2年次への進級が確定した段階で、奨学金を給付。そして2年次の奨学金は、卒業が確定した段階で給付します。本学は、2年間じっくりと学びに集中できる環境を目指しています!

※科目等履修生は除く



Point 2 奨学金額 = 授業料!!

高碓記念奨学金の給付金額は、年間の授業料と同じ金額です。各年度初めに授業料のご負担を頂きますが、条件を満たせば、年度末には給付を受けられます。そのほか、本学独自の学業成績優秀者奨学金など他の奨学金とも、併給が可能です。食品に熱い思いをお持ちの皆様が経済的な負担を気にすることなく、学びに専念し夢を実現できるよう徹底サポートします。



「高等教育の修学支援新制度」についても本学は対象校に選定されており、こちらの奨学金も併給が可能です。詳細は上記QRコードよりご確認ください。



2026年春、新しい校舎が誕生!

2026年春に、現在の校舎の約1.5倍の「ゆったり」した「キレイ」な校舎が完成予定! 天然芝のグラウンドが一望できるスペース、授業以外の時間にリラックスできるスペース、開放的なエントランスなど、「ずっと大学にいたくなる」校舎に生まれ変わります!



天然芝のグラウンドから見える新校舎



正門から見える新校舎



シックな雰囲気のエントランス



ガラス張りで開放感のあるロビー



吹き抜けで開放感のあるエントランスホール



吹き抜けで開放感のある共有スペース



天然芝のグラウンドが一望できる講堂
明るく開放的な環境で自習したり、休憩したりできます

東洋食品工業短期大学の過去、現在、そして未来

今から約150年前の1871(明治4)年、フランス人の指導のもと、日本で初めての缶詰が作られました。その後、日本の缶詰製造事業は、重要な輸出産業として発展していましたが、その一方で、缶詰製造技術を有する技術者が不足しているという課題に直面していました。

そこで、本学の創設者・高碓達之助(現・東洋製罐グループホールディングス株式会社の創業者)は、この課題を解決しなければならないという強い思いから、1938(昭和13)年4月、東洋食品工業短期大学の前身である「東洋罐詰専修学校」を創設しました。

以後、レトルト食品やPETボトル飲料が登場するなど、食品業界が様々な変化を遂げていく中で、本学の教育内容も常に時代のニーズに合わせて発展し、今日に至るまで、全国から集った優秀な学生を「心正しく、誠実と勤労の精神を尊び、包装食品工学に関する理論と技術をあわせ修めた包装食品業界の担い手」として輩出する教育機関として、日本の食品業界を支えています。

私たち東洋食品工業短期大学は、これからも、創設者・高碓達之助の熱き思いを胸に、包装食品製造技術を未来へとつないでいく大学として、社会に貢献していきます。



創設者 高碓達之助